

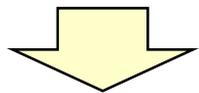
サイバーセキュリティとは

- インターネットなどの情報通信ネットワークを経由した、**コンピュータへの不正侵入、データの改ざんや破壊、コンピュータウイルス感染**などの**攻撃や脅威に対する防衛行為**

サイバー攻撃の変化（脅威の増大）

- ～2010年頃：**愉快犯**

- ✓ 自己顕示、見せしめ、嫌がらせ等が目的
- ✓ 単独犯
- ✓ **目立つ攻撃（ウェブサイト改ざんなど）**



攻撃目的の変化、攻撃手法の巧妙化

- 2010年頃～：**経済犯**

- ✓ 金銭目的（機密情報の漏えい、身代金の要求）
- ✓ 組織犯（国家関与の疑いがあるケースも）
- ✓ **目立たない攻撃（標的型攻撃、水飲み場型攻撃など）**

世界のサイバー攻撃事件

● 世界的なサイバー攻撃事件（代表的なもの）

- ✓ ハートランド（カード決済会社）：カード決済情報流出(2009年)
- ✓ [国]イラン：核施設へのマルウェア(Stuxnet)攻撃による被害(2010年)
- ✓ eBay：1億人以上の顧客情報漏えい(2014年)
- ✓ JPMorgan・チェース：8,000万を超える企業・個人情報漏えい(2014年)
- ✓ 米Yahoo!：10億人以上の個人情報漏えい(2016年)
- ✓ [国]ウクライナ：2年連続で年末に大規模停電発生(2015年,2016年)

(出典) 各種報道より大和総研作成

● 巨額のサイバーセキュリティ予算

- ✓ 米国：**190億\$ (約2兆円)**(2017年度) ※前年度比35%増
- ✓ 日本：**600億円***(2017年度) *概算要求 ※前年度比21%増

(出典) NISC「政府のサイバーセキュリティに関する予算」<https://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/yosan2017.pdf> を加工して作成

日本の国としてのサイバーセキュリティ戦略



(出典) NISC「サイバーセキュリティ戦略」2015年9月

日本国内企業の個人情報漏えいインシデント

2016年 個人情報漏えいインシデント 概要データ

漏えい人数	1,510万6,784人
インシデント件数	468件
想定損害賠償総額	2,994億2,782万円
一件あたりの平均漏えい人数	3万4,024人
一件あたり平均想定損害賠償額	6億7,439万円
一人あたり平均想定損害賠償額	3万1,646円

(出典) JNSA「2016年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」 2017年6月14日

個人における最近の脅威

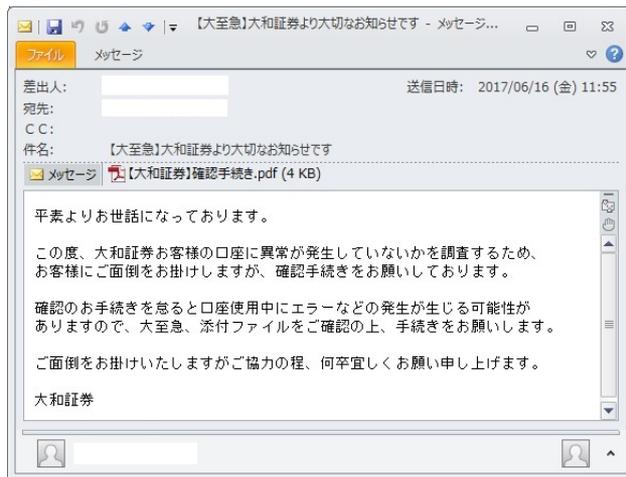
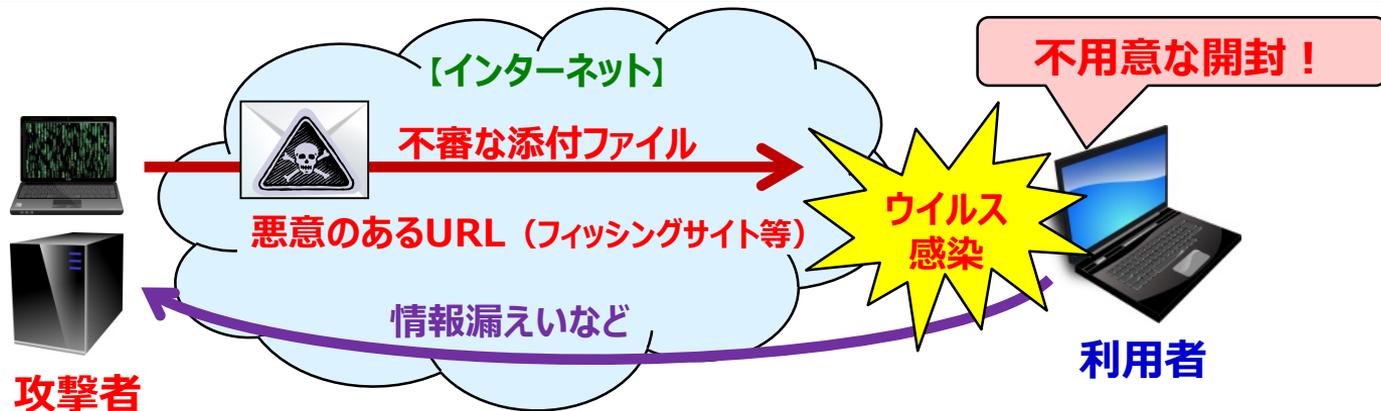
- IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)が選出した、**【個人における脅威】**の1,2,3位

情報セキュリティ10大脅威2017（個人別順位）

1位	インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用
2位	ランサムウェアによる被害
3位	スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃

(出典) IPA「情報セキュリティ10大脅威 2017」 2017年5月30日

【1位】インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用

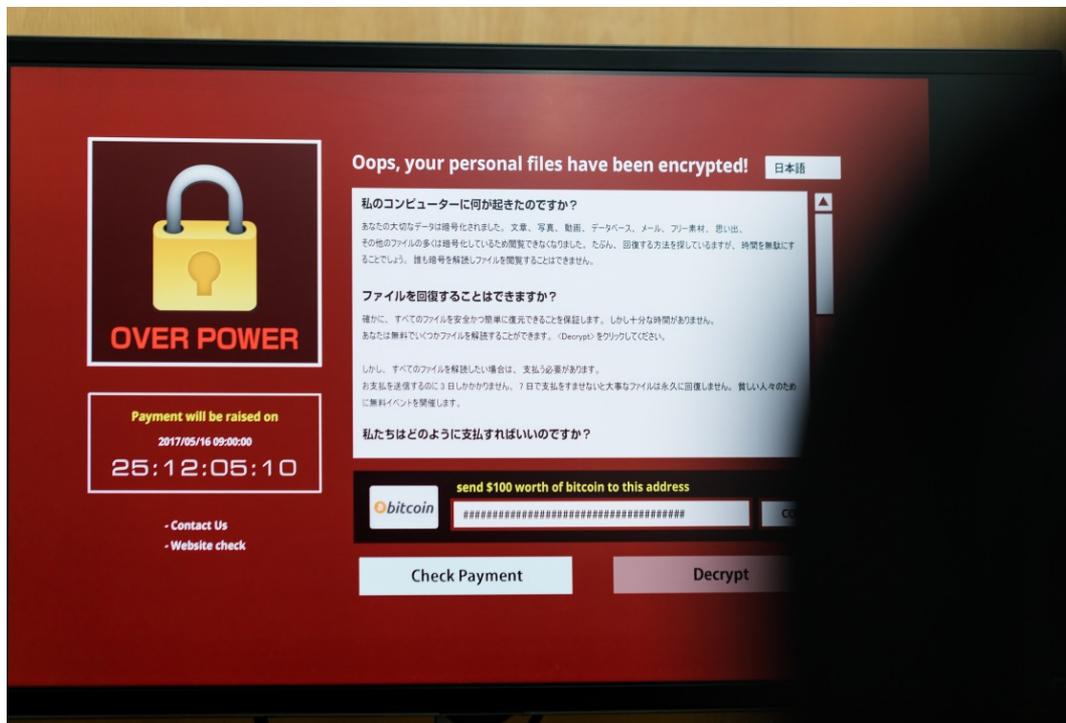


**閲覧・添付ファイル開封
したくなるような仕掛け**

- ・**実在組織を偽装**
- ・**親切そうな案内**
- ・**不安心理を煽る内容**

【2位】ランサムウェアによる被害

- ランサムウェア(**Ransomware**)
 - ✓ 造語：**Ransom**(身代金) + **Software**(ソフトウェア)



【3位】スマートフォンやスマートフォンアプリを狙った攻撃

● スマートフォンも安心できない

- ✓ スマートフォンは、**電話というよりPC**
- ✓ 便利なモバイル機能：いつでも、どこでも、気軽に の裏側の危険性
- ✓ 人気アプリに偽装してインストールさせようとする

● 不正アプリをインストールすると・・・

- ✓ アカウムの乗っ取り・操作ロック
- ✓ 録画・写真撮影・通話録音等の遠隔操作
- ✓ 個人情報への窃取や不正送金・課金

個人ができる対策

- **メールの添付ファイル・リンク(URL)を不用意に開かないこと**
- **PCのOS、利用ソフトウェアを最新の状態に保つ
(パッチの適用)**
- **ウイルス対策ソフトの定義ファイルを最新の状態に保つ**
- **定期的にバックアップを取得する**

まとめ

- **サイバー攻撃の脅威は、企業のみならず個人へも広がっているという認識を持つことが大切**
- **ランサムウェアなど新しい脅威に対する理解が必要**
- **個人ができる対策は積極的に行うこと**